Sheaves on Manifolds Exercise I.9 の解答

ゆじとも

2021年2月9日

Sheaves on Manifolds [Exercise I.9, KS02] の解答です。

I Homological Algebra

問題 I.9. C をアーベル圏とする。

$$\begin{array}{cccc}
X & \xrightarrow{f} & Y & \xrightarrow{g} & Z & \longrightarrow & 0 \\
& & \downarrow & & \downarrow & & \downarrow & \gamma \\
0 & \longrightarrow & X' & \xrightarrow{f'} & Y' & \xrightarrow{g'} & Z'
\end{array}$$

を C の可換図式で、横向きが完全であるものとする。

(1) 自然な射 φ : $\ker(\gamma) \to \operatorname{coker}(\alpha)$ が存在して、以下が完全となることを示せ:

$$\ker(\alpha) \to \ker(\beta) \to \ker(\gamma) \xrightarrow{\varphi} \operatorname{coker}(\alpha) \to \operatorname{coker}(\beta) \to \operatorname{coker}(\gamma).$$

(2) 以下の図式が可換であることを示せ:

$$Y \xrightarrow{g} Z$$

$$\uparrow \qquad \qquad \uparrow$$

$$Y \longleftarrow \ker(\gamma \circ g) \longrightarrow \ker(\gamma)$$

$$\downarrow \qquad \qquad \downarrow^{\varphi}$$

$$Y' \xleftarrow{f'} \qquad X' \longrightarrow \operatorname{coker}(\alpha).$$

証明. φ の構成ができれば、[Exercise 1.7, KS02] によって (1) は $\mathcal{C} = \mathsf{Ab}$ の場合に帰着され、この場合は図式 追跡によって初等的に証明できる。従って、(1) を示すためには φ を構成することが十分である。以下、 φ の構成と (2) の証明を同時に行う。

核の普遍性により、以下の図式を可換にするような射 $\psi_1:\ker(\gamma\circ g)\to\ker(\gamma)$ が一意的に存在する:

これは (2) の図式の右上の四角形の可換性を示している。また、[Exercise 1.8 (2), KS02] より、 ψ_1 はエピである。核の普遍性により、以下の図式を可換にするような射 ψ_2 : $\ker(\gamma \circ q) \to X'$ が一意的に存在する:

$$0 \longrightarrow \ker(\gamma \circ g) \longrightarrow Y \xrightarrow{\gamma \circ g} Z'$$

$$\downarrow^{\beta} \qquad \qquad \downarrow^{\beta} \qquad \qquad \downarrow^{\beta}$$

$$0 \longrightarrow X' \xrightarrow{f'} Y' \xrightarrow{g'} Z'.$$

これは (2) の図式の左下の四角形の可換性を示している。自然な射 $X' \to \operatorname{coker}(\alpha)$ と ψ_2 の合成を ψ_3 : $\operatorname{ker}(\gamma \circ g) \to \operatorname{coker}(\alpha)$ と置く。 $\operatorname{ker}(\psi_1) \to \operatorname{ker}(\gamma \circ g) \xrightarrow{\psi_3} \operatorname{coker}(\alpha)$ の合成が 0-射であることが証明できれば、 ψ_1 がエピであることから、 ψ_3 は ψ_1 を一意的に経由して、図式

$$\begin{array}{ccc}
\ker(\gamma \circ g) & \xrightarrow{\psi_1} & \ker(\gamma) \\
\psi_2 \downarrow & & \downarrow \varphi \\
X' & \longrightarrow & \operatorname{coker}(\alpha)
\end{array}$$

を可換にする射 φ の存在が従う ((2) の図式の右下の四角形の可換性の証明と φ の構成が同時に終わる)。 $p: X \to \operatorname{Im}(f)$ を自然なエピ射、 $j_1: \operatorname{Im}(f) \cong \ker(g) \to Y$ を自然なモノ射とする。このとき $f = j_1 \circ p$ である。核の普遍性により引き起こされる一意的な射を $\alpha': \operatorname{Im}(f) \cong \ker(g) \to X'$ と置く。

$$f' \circ \alpha = \beta \circ f = \beta \circ j_1 \circ p = f' \circ \alpha' \circ p$$

であることと f' がモノであることから、 $\alpha=\alpha'\circ p$ となる。 $q:X'\to \operatorname{coker}(\alpha)$ を自然な射とすると、 $q\circ\alpha'\circ p=q\circ\alpha=0$ となるが、p がエピであることから、 $q\circ\alpha'=0$ となる。 $T:\stackrel{\operatorname{def}}{=}\ker(\psi_1)$ とおき、 $i:T\to \ker(\gamma\circ g)$ を自然な射、 $j_2:\ker(\gamma\circ g)\to Y$ を自然なモノ射とする。 $\psi_1\circ i=0$ であるから、 $g\circ j_2\circ i=0$ である。よって、核の普遍性により、一意的な射 $k:T\to\operatorname{Im}(f)$ が存在して、 $j_1\circ k=j_2\circ i$ となる。以上より、

$$f' \circ \psi_2 \circ i = \beta \circ j_2 \circ i = \beta \circ j_1 \circ k = f' \circ \alpha' \circ k$$

となる。 f' はモノなので $\psi_2\circ i=\alpha'\circ k$ となる。従って、 $q\circ\psi_2\circ i=q\circ\alpha'\circ k=0$ となって、示すべき等式を得る。以上で問題 I.9 の証明を完了する。

References

[KS02] M. Kashiwara and P. Schapira. Sheaves on Manifolds. Grundlehren der mathematischen Wissenschaften. Springer Berlin Heidelberg, 2002. ISBN: 9783540518617. URL: https://www.springer.com/jp/book/9783540518617.